

日本技術士会北海道本部 防災委員会
～能登半島地震を機に、日本海側の大規模地震と津波災害を考える～

北海道南西沖地震から 31 年、当時を語り継ぐ

開催日：2024 年 7 月 10 日(水) 場所：奥尻郡奥尻町 奥尻町役場、青苗地区「奥尻島津波館」ほか



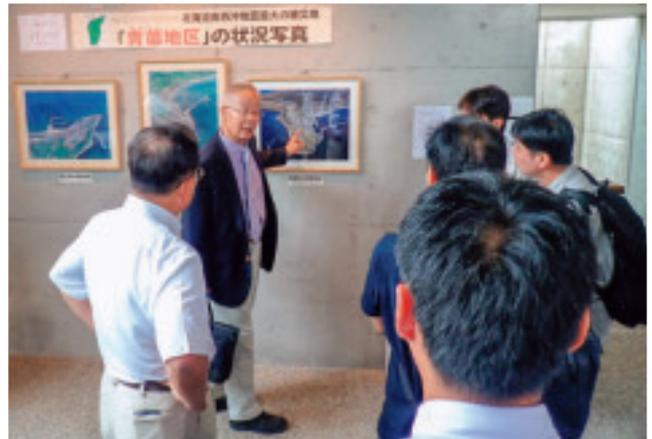
2024 年 5 月に開庁した奥尻町役場の総合案内。バス待合に利用できる「みんなのラウンジ」を併設(出典：奥尻町 HP)



役場執務室と直接繋がる赤枠ガラス張の奥には、新庁舎とあって集約された消防庁舎(事務室・消防車庫)が見える



満島地域政策課長より、新庁舎に隣接して整備した防災広場「おくしりポケットパーク」の災害時機能などを説明いただく



青苗地区「奥尻島津波館」では、奥尻町役場 OB で「津波語り部隊」の竹田さんより、当時の経験を交えた解説をいただく



奥尻島津波館内の展示パネル(一部)。津波に襲われた翌朝 6 時に撮影されたもので、タイトル — 沈黙する青苗漁港



青苗地区の津波対策施設「人工地盤」上部を視察。1 階の空間は漁業従事者等の作業スペースとして漁港との親和性に配慮